

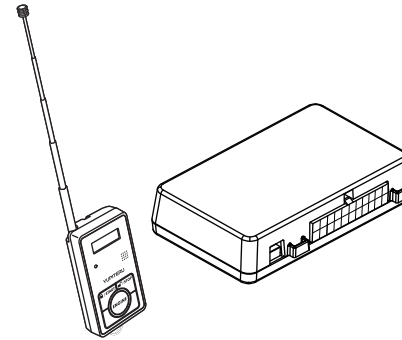
保証書

(持込修理)

本書は、本書記載内容（裏面記載）で、無料修理を行うことを、お約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 VE-Eps56P (テレコントロールエンジンスターター)	
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	お買い上げの日より3年 (リモコンは1年、電池などの消耗部品は除く)
お客様 お名前	
ご住所	〒
TEL. ()	
販売店 店名・住所	

上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものをお貼りください。



このたびは、ユピテルのテレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロールシステムです。

目次

はじめに	主な特長	2
	ご使用前に	4
	安全機能について	7
	各部の名称とはたらき	8
	リモコンの上手な使いかた	9
操作する	エンジンを始動させる	10
	エンジンを停止させる	12
	エンジンの状態を確認する	13
	アイドリング時間を延長する	15
	車に乗るときは	16
	ドアロック操作	17
	ドアアンロック操作	19
	エンジンスターターの設定	21
	アイドリング時間の設定／セル時間の 設定（プッシュスタートスイッチ 制御時間の設定）／サイレントモード の設定／車室内温度表示設定／ド ア検出設定／オールリセット	
	その他	スリープ機能について
電池交換のしかた		27
車内で『ビビビビビビ』音が鳴っている場合		28
リモコンの登録方法		30
こんなときは		31
始動エラー音について		32
仕様		32
セット内容		33
	アフターサービスについて	33
	保証書	裏表紙



警告

取り付けには、専門知識が必要です。

安全のため、取り付けはお買い求めいただいた販売店様やカーディーラー様にご依頼ください。

- 本機は、販売店様やカーディーラー様での取り付けを対象としております。
- お客様ご自身での取付作業に対するサポートは行っておりません。
- お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

■取り付け可能な車

本機は、プッシュスタートシステム車専用エンジンスターターです。詳しくは、車種別専用ハーネス適応表をご覧ください。適応車種がわからない場合は、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

■アンテナ採用(ジャンクションユニット)

- アンテナ内蔵の車内スッキリデザイン

■通信技術

- 独自のプログラミング処理により、今まで受信しにくかった屋内やビルの陰でも確実にエンジン始動をサポートします。

○ 通信距離の目安

最大 : 3,300m(見通し)
ビル街 / 住宅街 : 200m(遮蔽物あり)~1,200m(見通し)

■ご注意

- ・ 実用通信距離は一般的な電波環境での目安であり、通信距離をお約束するものではありません。電波の届かない地下や屋内では表記の通信距離より短くなることがあります。
- ・ ファンモーターなどのノイズの大きな車では、エンジン始動させるときに比べ、停止させるときの方が短くなることがあります。

■セル時間設定(プッシュスタートスイッチ制御時間) (🔊 21 ページ)

車にあわせて、プッシュスタートスイッチ制御時間を、0.7/1.0/1.3/1.5/2.0/3.0 秒の 6 段階から設定できます。

■アイドリング時間設定 (🔊 21 ページ)

季節、気候にあわせたアイドリング時間を、2/10/15/20/30 分の 5 段階から選択できます。

■アイドリング延長機能 (🔊 15 ページ)

アイドリング設定時間に対して 10 分のアイドリング延長ができます。

※ アイドリング時間設定を 30 分にしている場合は、アイドリング時間を延長することができません。

■サイレント機能

使用環境や状況に応じて、次の 2 つの機能を使い分けることができます。

- サイレント操作 エンジンの始動・停止・状態確認操作時に、一時的にリモコンから音を鳴らすことなく操作が行えます。
(🔊 10、12、13、15 ページ)
- サイレントモード リモコンからのすべての音を「鳴らす / 鳴らさない」から選択できます。
(🔊 21 ページ)

■多彩なオプション

※ オプション品については、予告なく仕様を変更したり、販売を終了する場合があります。あらかじめご了承ください。

● ドアロック / アンロック機能 (別売 A-17SF : キーレスエントリー)

離れた場所から、本機リモコンでドアロック / アンロックができます。

※ 適応車種限定…詳しくは、車種別専用ハーネス適応表をご参照ください。

※ 別売のアダプターやドアロックハーネスが必要となる場合があります。

● ハザードアンサーバック機能 (別売 A-18SF : ハザード制御)

本機でのエンジン始動時、ハザードランプを 3 回点滅させてエンジンがかかったことをお知らせします。また、本機でのドアロック / アンロック時に、ハザードランプを点滅 (1 回 / 2 回) させることができます。

● 車室内温度表示機能 (別売 J-09 : 温度センサ)

別売の温度センサ : J-09 を接続し、本機リモコン操作でエンジン始動やエンジンの状態確認を行うと、車室内温度を表示します。

● ドアミラーコントロール機能 (別売 A-35SF : ドアミラーコントローラ)

本機リモコンのドアロック・アンロック操作でドアミラーの開閉ができます。

※ 適応車種限定…詳しくは、車種別専用ハーネス適応表をご参照ください。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

警告：警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡したり重傷を負う可能性があります。

注意：注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

- △ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。
- ⊘ ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
- ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

警告

- ❗ シフトレバーは必ずパーキング(P)の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する…思わぬ事故の原因になり大変危険です。
- ⊘ 車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない…発火の恐れがあります。
- ⊘ 車のボディカバーをかけたまま使用しない…発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- ⊘ 換気の悪い車庫や屋内では、使用しない…排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- ⊘ お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない…室内は車両本来の操作でエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。
- ❗ リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する…お子様が勝手にエンジンを始動させ、事故の原因となります。
- ❗ 必ずボンネットが閉まっている状態で使用する…エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。
- ⊘ 暖機運転の直後にエンジン点検などを行わない…火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。
- △ 煙がでている、変な臭いがあるなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理を依頼してください。
- ❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、事故の原因となります。
- ⊘ サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

警告

- ❗ 思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずリモコンの電池を抜いてください
 - ボンネットを開けるとき
 - 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
 - 本機の使用方法を理解されていない方が運転するとき
 - 長期間、車を使用しないとき
- ❗ 走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ず車両本来の操作で再始動する。本機でエンジンを始動させた状態では走行できません。エンジンが作動している状態でのエンジンスイッチなどの誤操作はセルモーターの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置が働かないままで動き出すなどの事態をまねく危険性があります。
- ⊘ 本機でエンジンを始動した際は、シフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしない…エンジンスターターの安全機能が働かず、思わぬ事故につながる場合があります。
- ❗ 車両の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する
- ⊘ むやみに操作ボタンを押さない…リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります
- ❗ あらかじめ駐車時には以下のことを守る
 - ワイパー、ラジオ(オートアンテナ車の場合)をOFFにしてください。エンジン始動を行ったときに動き出すので危険です。また凍結した場合、モーターの損傷や専用ハーネスのヒューズ切れを起こす恐れがあります。
 - すべての窓を開めてください。
 - すべてのドアを施錠(ロック状態)してください。
 - 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときは、必ず輪止めをしてください。
- ⊘ マフラーが雪で覆われるような降雪時に使用しない…排気ガスが車内に充満して大変危険です。

- 一般公道での使用、締め切った場所での使用はおやめください。
- 地域により車両の停車中にみだりにエンジンを始動させた場合、条例等により罰則を受ける場合がありますので、ご注意ください。

- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。
- 本書で使用している画像は、実際の画面とは見えかたが異なる場合があります。
- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

ご使用の前に

ご注意 電波法について

- リモコン裏側やジャンクションユニットの技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

ご注意 本機の機能について

- **コンライトキャンセル機能**が使用できないお車の場合
オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車[※]で、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態では本機によりエンジン始動した場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあとも消灯しません。
※ 暗くなると、自動的にライトが点灯するシステムです。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、通信範囲が狭くなることがあります。
- **ドアロック（施錠）／アンロック（解錠）機能**について（オプション対応）
ラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、ドアロック・アンロックができなくなる場合があります。また、電池が完全に消耗してしまったりリモコン操作ができなくなりますので、車の電子キーは必ず携帯してください。
車両本来の操作でエンジンをかけているときは、リモコンからの操作は無効となります。
- ※ 車から離れるときは、ドアのロックを確認してください。

ご注意 ご使用にあたって

- リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。
- リモコンは簡易防滴構造ですが、水につけたり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。
- リモコンは、お客様の手の届かない場所に保管してください。
- リモコンを次のような場所に放置しないでください。
 - 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
 - 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
 - ホコリや油煙の多い場所。
 - 非常に温度の低い場所。
- リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。
- ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、アイドリング中にドアのロック／アンロックができないことがあります。このようなときは、キーで操作してください。
- オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・ドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。



エンジンスターター使用上の制限

本機には、次の使用制限があります。

制限事項

- ・ エンジンスターターでのエンジン始動中・停止後は、ドアハンドル操作やリクエストスイッチ操作による開錠ができなくなり、エンジンスターター停止後に電子キーのボタン操作で施錠・開錠を行うと復帰します。
- ※ エンジンスターターのドアロック／アンロック機能はご使用になれます。（別売のキーレスエントリー線：A-17SF等接続時）
- ・ 車両のいずれかのドアが開いていたり、ヘッドライトやスモールライトが点灯している状態では、エンジンスターターによるエンジン始動は行えません。（➡ 24 ページ「ドア検出設定」で「検出する」に設定した場合）
- ・ エンジンスターターによるアイドリング中に、車両のドアを開ける、ヘッドライトやスモールライトを点灯させると、アイドリングを停止します。（➡ 24 ページ「ドア検出設定」で「検出する」に設定した場合）
- ・ エンジンスターターによるアイドリング中にブレーキペダルを踏むと、アイドリングを停止します。
- ・ エンジンの始動時に、ブレーキランプが約 3 秒間点灯します。（工場出荷時）
- ※ セル時間設定（プッシュスイッチ制御時間）を変更するとブレーキランプが点灯する時間も変わります。

安全機能について

■ コンライトキャンセル機能 （別売の A-60 を使用して、車両に施工済みの場合）

コンライトシステム搭載車でオートライト設定中でも、アイドリング終了後にライトを消灯させ、バッテリー上がりを防ぐことができます。

※ 一部車両では、コンライトキャンセル機能が正常に働かない場合があります。

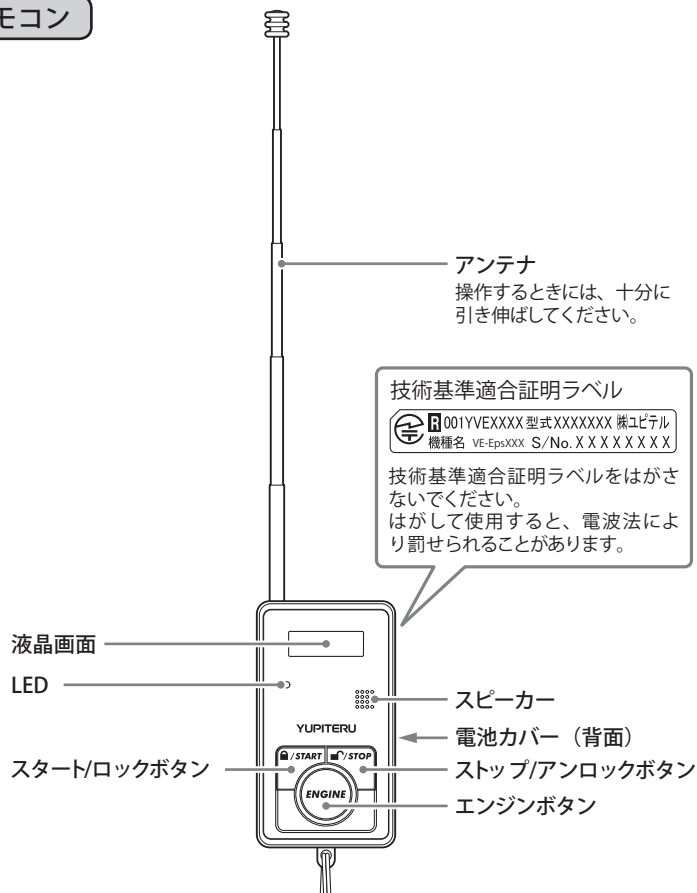
⚠ 警告

- ・ 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車を預けるときは、リモコンの電池を抜いてください。
- ・ 本機の取り付け後、安全のため、付属のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー（大）」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー（小）」はボンネットオープンやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。



各部の名称とはたらき

リモコン



●リモコンの表示について

リモコンの ENGINE・START・STOP ボタンのいずれかを押すと、液晶画面が約 3 秒間点灯（点滅）します。
また、電波を受信した場合は、動作に応じた液晶画面が約 3 秒間点灯（点滅）してお知らせします。

ポイント

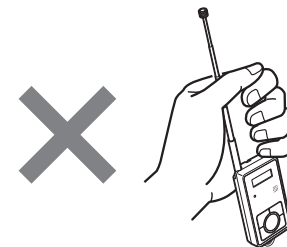
- ・液晶画面は点灯（点滅）後、バッテリーセーブのため消灯します。
- ・気温が 0℃以下になると液晶表示が薄くなったり、表示されないことがありますが、エンジンの始動・停止等のリモコン操作には問題ありません。

リモコンの上手な使いかた

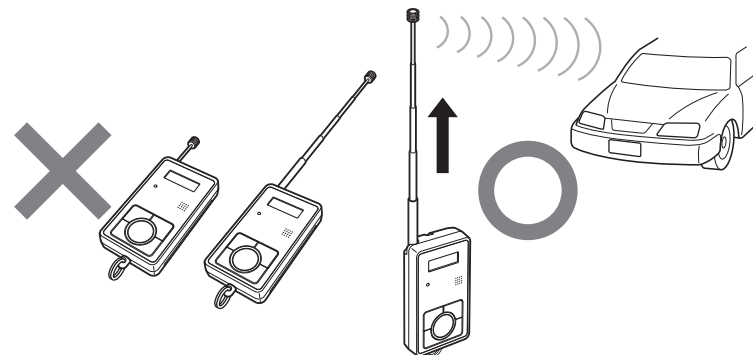
リモコンを操作するときは、安定した通信距離を確保するために、次のことを守ってください。

■リモコンのアンテナを手で覆わないでください。

※電波が飛びにくくなります。



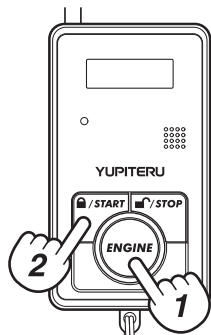
■リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。



⚠注意

降雪時や寒冷地で車を駐車するときは…

車を駐車するときはワイパーなどの電源をOFFにしてください。本機でエンジン始動の際、ワイパーの凍結などにより過大な負荷がかかり専用ハーネスのヒューズが切れる恐れがあります。



サイレント操作

リモコンの操作1で、“” (エンジン) ボタンをLEDが点灯するまで押し続ける (約3秒間) と、一時的に、リモコンから音を鳴らすことなく、リモコン操作が行えます。

リモコンの操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで (エンジン) ボタンを押す

“” が点滅します。



2 “” が点滅中 (約3秒間) に、『ドレミファソ』が鳴るまで (スタート) ボタンを押す

“ON” が点灯し、LED が点滅して信号を送信します。



ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』と鳴り、“STR” が点灯します。



※ 電波状態によって送受信がすぐに行われる場合があります。その場合、『ドレミファソ』、『ソファミレド』が連続して聞こえることがあります。



エンジンの始動を行います。

ポイント

本機リモコン操作 (エンジンの始動、停止、状態確認、アイドリング時間の延長、ドアのロック/アンロック) をしたときに、ジャンクションユニットからの信号を受信できないと、“ER” が点滅してリモコンからエラー音『ピー』が鳴ります。



このような場合は、場所を変えてもう一度リモコン操作を行ってください。

メモ

車のバッテリーの性能が低下しているときは、車両本来の操作で始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

ご注意

- ・車両のいずれかのドアが開いていたり、ヘッドライトやスモールライトが点灯している状態では、本機でのエンジン始動は行えません。
(☞ 24 ページ「ドア検出設定」で「検出する」に設定した場合)
- ・エンジンの始動時に、ブレーキランプが約3秒間点灯します。

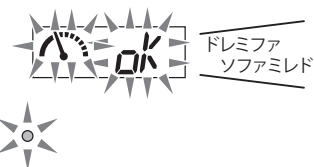
エンジンが始動すると



エンジン始動を検出して、始動確認の信号をリモコンに送ります。
別売のハザード制御：A-18SF を接続していると、ハザードランプが3回点滅して、エンジンの始動をお知らせします。

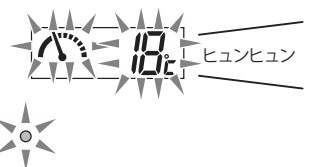
ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ドレミファソファミレド』と鳴り、LED が3秒間の点灯し、エンジン始動をお知らせします。



■ 別売の温度センサ (J-09) を接続している場合 (車室内温度表示設定の設定が ON の場合)

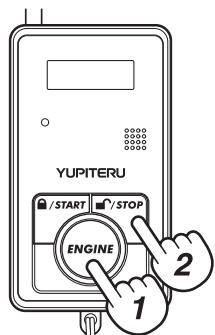
受信音『ヒュンヒュン』が鳴り、現在の車室内の温度を表示し、LED が3秒間の点灯します。



車室内温度は -30℃ ~ 99℃ の範囲を 1℃ 単位で表示します。温度が -30℃ 以下のときは、-30℃、99℃ 以上のときは 99℃ で表示します。

アイドリング中は『ピッピッピッ』とジャンクションユニットから連続して鳴り、本機動作により、アイドリングしていることをお知らせします。

エンジンを停止させる



サイレント操作

リモコンの操作 1 で、
“ENGINE” (エンジン) ボタンを
LED が点灯するまで押し
続ける (約 3 秒間) と、一
時的に、リモコンから音
を鳴らすことなく、リモ
コン操作が行えます。

リモコンの操作

- 1 操作確認音『ビッ』が鳴るまで (ENGINE) (エンジン) ボタンを押す

“E” が点滅します。



- 2 “E” が点滅中 (約 3 秒間) に、『ドレミファソ』が鳴るまで (STOP) ボタンを押す

“OFF” が点灯し、LED が点滅して、信号を送信します。



ジャンクションユニットが信号を認識
すると、リモコンに信号を送り返し
ます。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソミレドレ』が鳴り、“OFF” が点灯し、
LED が 4 回点滅して、エンジンが停止したことを
お知らせします。

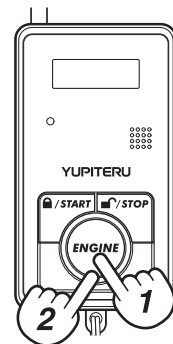


エンジンの状態を確認する

エンジンの始動／停止状態の確認ができます。

ご注意

車両本来の操作でエンジンを始動した場合は確認できません。



サイレント操作

リモコンの操作 1 で、
“ENGINE” (エンジン) ボタンを
LED が点灯するまで押し
続ける (約 3 秒間) と、一
時的に、リモコンから音
を鳴らすことなく、リモ
コン操作が行えます。

メモ

エンジンが始動できなかった場合、
右記の操作 (エンジンボタンの 2 度
押し) で始動エラー音を確認するこ
ともできます。(「始動エラー音につ
いて」 32 ページ)

リモコンの操作

- 1 操作確認音『ビッ』が鳴るまで (ENGINE) (エンジン) ボタンを押す

“E” が点滅します。



- 2 “E” が点滅中 (約 3 秒間) に、『ドレミファソ』が鳴るまで (ENGINE) ボタンを押す

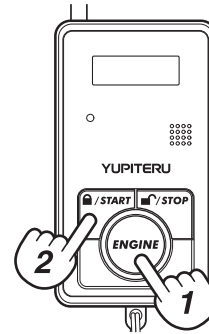
“chk” が点灯し、LED が点滅して、信号を送信します。



ジャンクションユニットが信号を認識
すると、リモコンに信号を送り返します。
別売のハザード制御：A-18SF を接続し
ていないと、ハザードランプが 3 回点滅
します。

アイドリング時間を延長する

エンジンスターターアイドリング中に、アイドリング設定時間に対して 10 分のアイドリング延長ができます。



サイレント操作

リモコンの操作 1 で、“” (エンジン) ボタンを LED が点灯するまで押し続ける (約 3 秒間) と、一時的に、リモコンから音を鳴らすことなく、リモコン操作が行えます。

ご注意

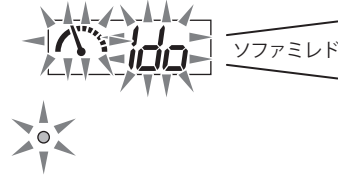
次のような場合は、アイドリング時間を延長することができません。

- ・アイドリング時間設定を 30 分にしている場合
- ・アイドリング時間延長操作をすでに 1 度行っている場合

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

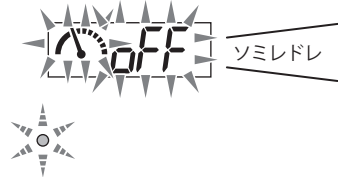
■ エンジンが始動中は

受信音『ソファミレド』が鳴り、“” が点灯し、LED が 3 秒間点灯します。



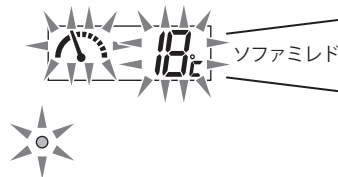
■ エンジンが停止中は

受信音『ソミレドレ』が鳴り、“” が点灯し、LED が 4 回点滅します。



別売の温度センサ (J-09) を接続している場合 (車室内温度表示設定が ON の場合)

受信音『ソファミレド』が鳴り、現在の車室内の温度を表示し、LED が 3 秒間点灯します。



車室内温度は -30℃～99℃の範囲を 1℃単位で表示します。温度が -30℃以下のときは、-30℃、99℃以上のときは 99℃で表示します。

リモコンの操作

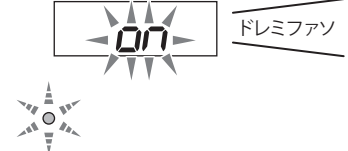
1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで (エンジン) ボタンを押す

“” が点滅します。



2 “” が点滅中 (約 3 秒間) に、『ドレミファソ』が鳴るまで (スタート) ボタンを押す

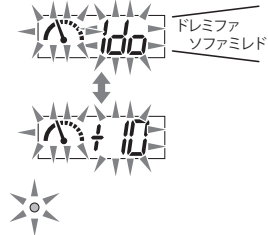
“” が点灯し、LED が点滅して信号を送信します。



ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送ります。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ドレミファソファミレド』が鳴り、“” と “” の交互の点灯と LED の点灯で、アイドリング時間の延長をお知らせします。



車に乗るときは

安全のため、いったんエンジンを停止させたあと、必ず車両本来の操作でエンジンを始動してください。

走行する際

- 1 リモコン操作でエンジンを停止させる
(エンジン停止操作は 12 ページを参照)
- 2 車両本来の操作で、エンジンを始動させる
走行できます。

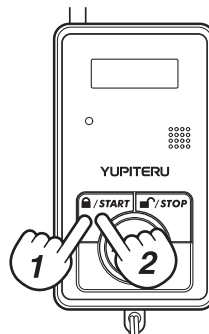


ドアロック操作(オプション対応)

ご注意

別売のキーレスエントリー：A-17SF等の接続が必要です。

※ お車によっては、別売のドアロックアダプターやドアロックハーネス等が必要な場合があります。



ご注意

車両本来の操作でアイドリングを行っているときは、本機リモコンでドアのロックやアンロックはできません。

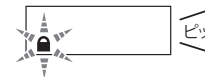
メモ

別売のハザード制御：A-18SFを接続していると、ハザードランプが1回点滅します。

リモコンの操作

- 1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで (ロック) ボタンを押す

“ ” が点滅します。



- 2 “ ” が点滅中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで (ロック) ボタンを押す

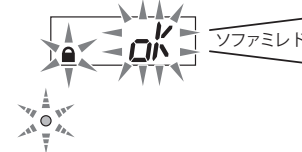
“**LOK**” が点灯して信号を送信します。



ジャンクションユニットが信号を認識すると、ドアをロックしてリモコンに信号を送り返します。

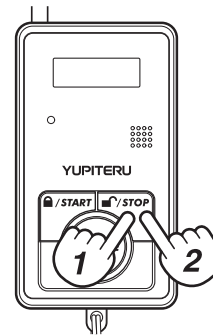
ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』が鳴り、“ ”と“**OK**”の点灯と、LEDの2回点滅で、ドアのロック(施錠)をお知らせします。



⚠注意

- 車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れまたは故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。電子キーは必ず携帯してください。
- 半ドア状態でドアロック操作をした場合は、ドアを完全にロックできない場合があります。



ご注意

車両本来の操作でアイドリングを行っているときは、本機リモコンでドアのロックやアンロックはできません。

メモ

別売のハザード制御：A-18SF を接続していると、ハザードランプが2回点滅します。

リモコンの操作

- 操作確認音『ピッ』が鳴るまで (アンロック) ボタンを押す

“” が点滅します。



- “” が点滅中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで (アンロック) ボタンを押す

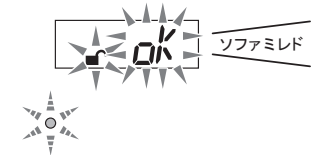
“” が点灯して信号を送信します。



ジャンクションユニットが信号を認識すると、ドアをアンロックしてリモコンに信号を送り返します。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』が鳴り、“” と “” の点灯と、LED の3回点滅で、ドアのアンロック(解錠)をお知らせします。



エンジンスターターの設定

⚠注意

- 本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤動作を防止していますが、純正キーレスエントリースystemに比べ電波到達距離が長いので、リモコン操作には十分に注意してください。
- 本機は、オートリロック機能※を搭載しておりませんので、リモコンでドアアンロック後、乗車しない場合は、ドアのロック状態を確認してください。
※ドアアンロック後、ドアを開けない場合、自動的にドアロック（リロック）する機能

本機は車両や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定を設けてあります。

ご注意 「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

設定手順は
➡ 22、23 ページ

アイドリング時間の設定

本機で始動した場合のアイドリング時間を 2/10/15/20/30 分の 5 段階から選択できます。
※ 工場出荷時は 10 分に設定されています。

セル時間の設定(プッシュスタートスイッチ制御時間の設定) ＝設定には専門知識が必要です＝

車にあった、プッシュスタートスイッチ制御時間を 0.7/1.0/1.3/1.5/2.0/3.0 秒の 6 段階から選択できます。エンジンが始動しにくい場合には長めに設定してください。
※ 工場出荷時は 1.5 秒に設定されています。

サイレントモードの設定

リモコンからのすべての音を「鳴らす / 鳴らさない」から選択できます。液晶画面と LED のみでお知らせします。

ON	リモコンの音を鳴らさない
OFF	リモコンの音を鳴らす

※ 工場出荷時は「OFF」に設定されています。

● アンサーバック時の LED

点灯	エンジン始動中
2 回点滅	ドアロック
3 回点滅	ドアアンロック
4 回点滅	エンジン停止中

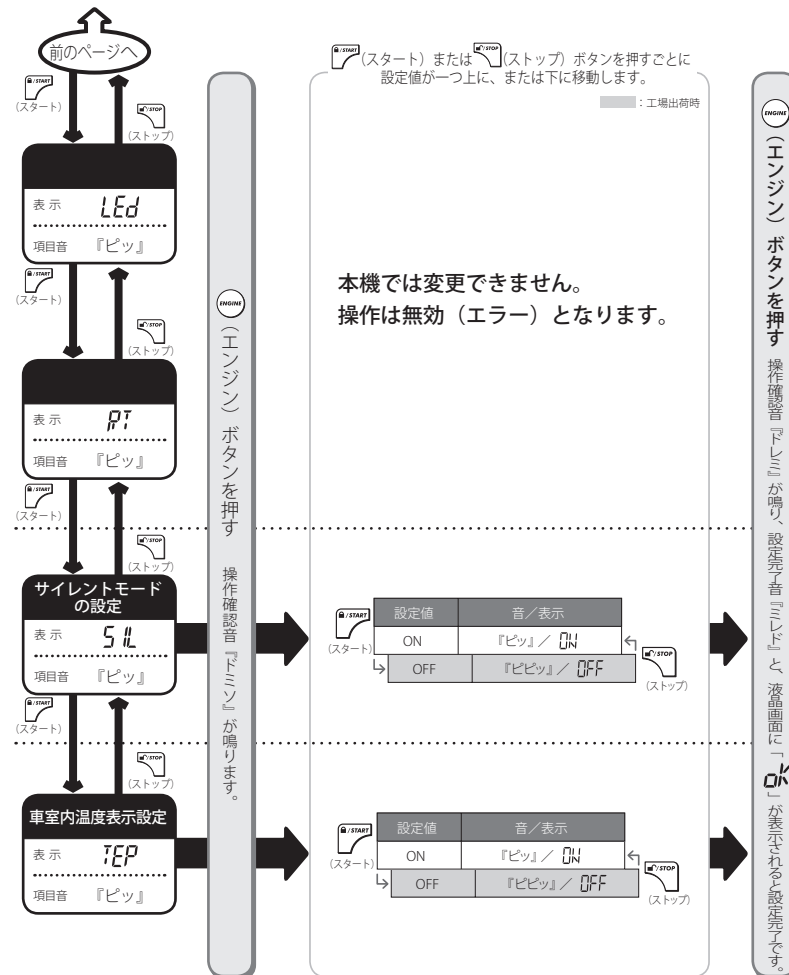
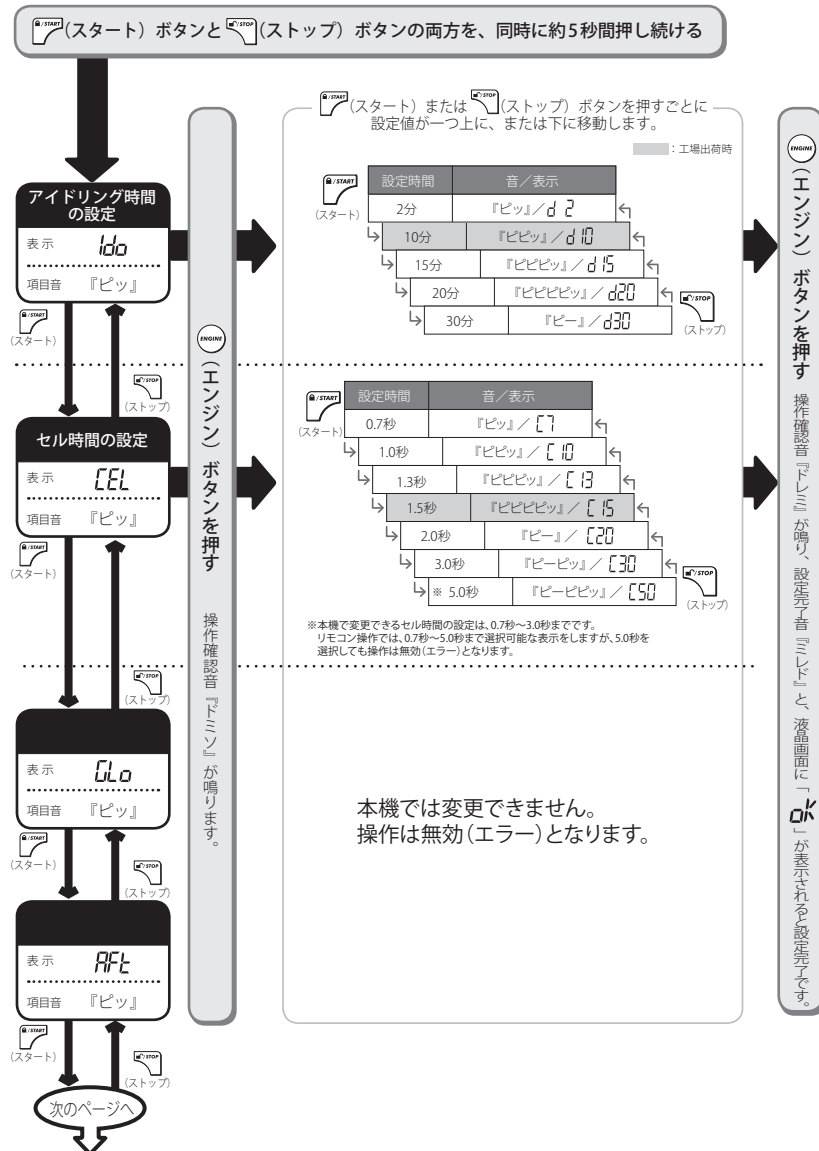
車室内温度表示設定

別売の温度センサ：J-09 を接続した場合、ON に設定します。
※ 工場出荷時は「OFF」に設定されています。

ご注意

温度センサが未接続の状態で「ON」に変更すると、正しい温度が表示されません。

ON	温度表示する
OFF	温度表示しない



ご注意

設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音『ピーピーピー』が鳴り、変更した内容を記憶せず、設定モードを終了します。

エンジンスターターの設定

本機は一部の特殊な車両でご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

ご注意 「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更さらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

設定手順は
➡ 25 ページ

ドア検出設定

本機でエンジン始動及びアイドリング中にドア開※を「検出する／検出しない」から選択ができます。

「検出する」を選択し、ドア開を検出した場合は、エンジン始動時はエンジンの始動ができません。アイドリング中はエンジンを停止します。

なお、「検出しない」に変更すると、ドアが開いたり、ヘッドライトやスモールライトが点灯してもエンジン始動及びアイドリングは停止しません。

※ ドアが開いた場合、ヘッドライトやスモールライトが点灯した場合

	音	表示
検出しない	『ピロ』	ON
検出する	『ピロピロ』	OFF

※ 初期設定は「検出する」に設定されています。

オールリセット

エンジンスターターの設定（➡ 21 ～ 25 ページ）をすべて工場出荷時の設定に戻します。

ご注意

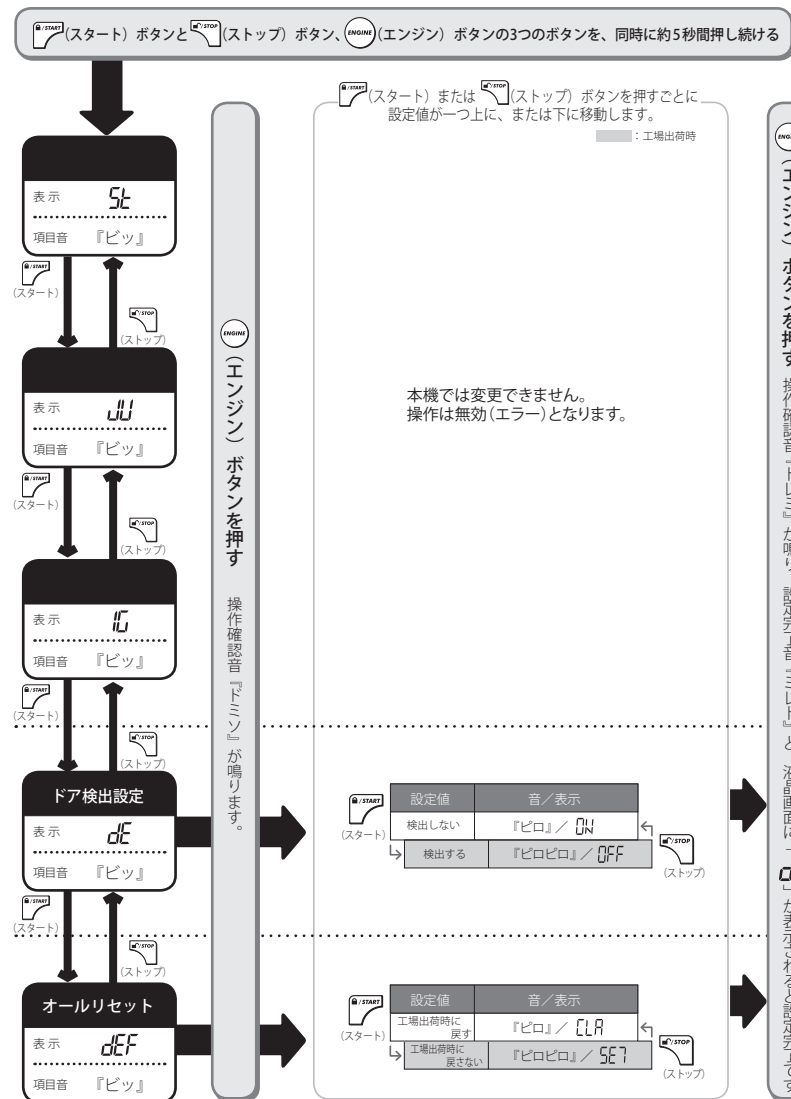
コンライトシステム搭載車で、ライトスイッチを「AUTO」にしたまま夜間に本機でエンジン始動後、アイドリングが終了してもコンライトは消灯しません。
このようなお車の場合は、コンライトキャンセル機能（別売品 A-60）を施工するか、オートライトを OFF にしてご使用ください。

メモ

コンライト装備車で、ライトスイッチを「AUTO」で使用する場合、「検出しない」に変更し、コンライトキャンセル機能（別売品 A-60）を施工してください。本機で始動時、車両のライトが点灯してもエンジンの始動ができます。また、アイドリング停止後に、ライトが消灯します。

	音	表示
工場出荷時に設定を戻す	『ピロ』	CLR
工場出荷時に設定を戻さない	『ピロピロ』	SE7

エンジンスターターの設定



ご注意

設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音『ピーピーピー』が鳴り、変更した内容を記憶せず、設定モードを終了します。

操作する

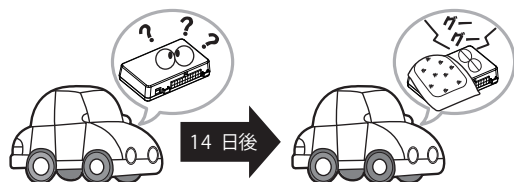
操作する

スリープ機能について

車を使用しない状態が 14 日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能がはたらきます。

スリープ機能がはたらくと、本機によるエンジン始動はできません。

スリープ機能を解除するときは、一度、車両本来の操作でエンジンを始動させてください。



本機を長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜いておきます。

車のバッテリーとエンジンスターター始動の関係

車のバッテリーの性能が低下しているときは、車両本来の操作で始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- 車のバッテリー交換を行った場合は、再度 P・ポジション検出 (28 ページ) が必要です。

電池交換のしかた

電池を交換するときは下記の手順で電池を装着してください。

電池交換中は車両周囲の安全を確認のうえ、不意なエンジン始動には十分にご注意ください。

●電池の交換時期について

リモコン操作できる距離が短くなったら、電池寿命です。早めに新しい電池と交換してください。

●電池寿命の目安

約 1 年を目安に新しい電池 (CR2025 2 個) と交換してください。

※ 使用する条件によって異なります。

※ 付属 (内蔵) の電池はモニター用です。モニター用の電池は、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。

※ 指定の電池 (CR2025) 以外は使用しないでください。

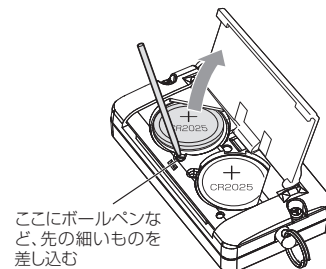
⚠ 警告

使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・火傷の原因となることがあります。また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

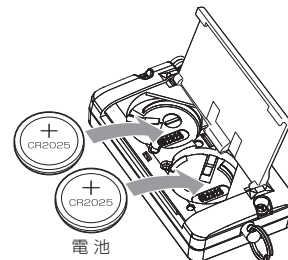
1 電池カバーを開ける



2 電池を取り出す



3 電池 (CR2025) を、⊕ を上にして入れる



※ リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

4 電池カバーを閉める

車内で『ピピピッ ピピピッ』音が鳴っている場合

バッテリー上がりやバッテリー交換、専用ハーネスの取りはずし等で常時電源が断たれた場合は、ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ…』が鳴り、P・ポジションの設定がリセットされたことを知らせます。

※ P・ポジションがリセットされると、リモコン操作がエラーとなり、本機によるエンジン始動ができません。

車のバッテリー交換やバッテリー上がり、エンジンスターターを付け替えた場合は、下記の手順で P・ポジションの検出・設定を行ってください。

※ イモビ ID は、P・ポジション検出を行うと自動的に登録されます。

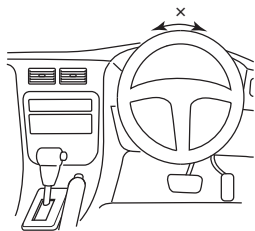
P・ポジション検出の設定手順

『ピピピッ ピピピッ ピピピッ…』音が鳴っている状態で、以下の手順で設定を行ってください。

※ 何も音が鳴っていない場合は、「ハーネスの抜き差し」や「バッテリー マイナス端子の脱着」を行ってから下記の手順で再設定を行ってください。

1 バッテリー接続後、一旦ドアを閉じ、再度ドアを開ける

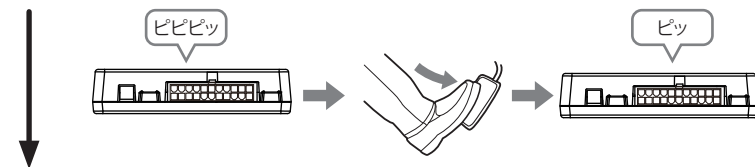
ジャンクションユニットから、「ピピピッ ピピピッ ピピピッ…」と音が鳴っている状態で一旦ドアを閉じ、再度ドアを開けます。車両によってはハンドルがロック（固定）されますが、車両側の機能であり故障ではありません。そのまま、P・ポジション検出手順を進めてください。



(バッテリー交換やバッテリー上がり、本体移設後の操作)

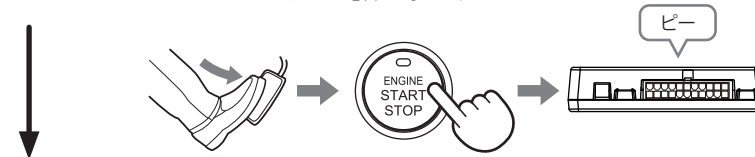
2 車両の電子キー（スマートキーやアクセスキーなど）を車内に持ち込み、ブレーキペダルを踏み込む

ジャンクションユニットからの『ピピピッ ピピピッ ピピピッ…』音が止まり、続けて『ピッ』音が鳴ります。

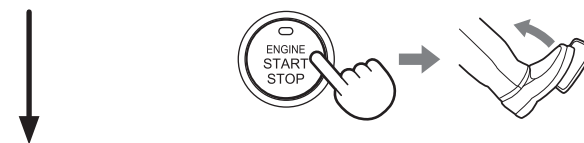


3 ブレーキペダルを踏みながらエンジンスイッチを押し、エンジンを始動させる

ジャンクションユニットから『ピー』音が鳴ります



4 もう一度エンジンスイッチを押してエンジンを停止させ、ブレーキペダルから足を離す



以上で設定完了です

ジャンクションユニットからの『ピピピッ ピピピッ ピピピッ…』音が鳴り止んでいることを確認してください。

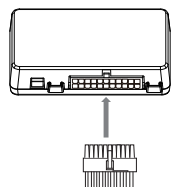
『ピピピッ ピピピッ ピピピッ…』音が鳴り止まない場合、専用ハーネスの接続やステアリングロックの状態を再度確認し、手順 1. から設定を行ってください。

リモコンの登録方法

リモコンの紛失や故障などの場合は、新たなリモコンを登録することができます。
※ リモコンは取り寄せ品となるため、お時間を頂戴する場合があります。あらかじめご了承ください。

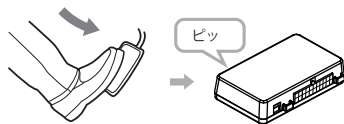
付属のリモコンは、登録する必要はございません。そのままご使用いただけます。

- ジャンクションユニットからコネクター 1 をはずし、再度接続する『ビビビッ ビビビッ ビビビッ』と確認音が連続して鳴ります。



- 一旦ドアを閉じ再度ドアを開ける

- 車両の電子キーを車内に持ち込み、ブレーキペダルを踏み込む
ジャンクションユニットから『ビッ』と鳴ります。



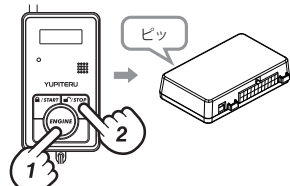
- ブレーキペダルを踏みながらエンジンスイッチを押し、エンジンを始動させ、エンジン始動後もブレーキペダルは踏み込んだままの状態にする
ジャンクションユニットから『ピー』と確認音が鳴ります。

※ リモコンの登録操作はブレーキペダルを踏み込んだ状態でを行います。



- 『ピー』と鳴ってから 20 秒以内に、登録を行うリモコンからエンジン停止操作（ENGINE ボタンを押し“E”が点滅中にSTOP ボタンを押す）を行う
ジャンクションユニットから『ビッ』と鳴ります。

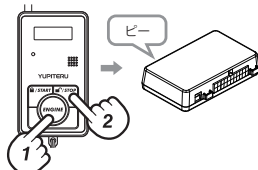
リモコンからはエラー音『ピー』が鳴ります。



※ジャンクションユニットから『ビッ』と鳴らないときは、キーを OFF にして再度 1 の操作からやり直してください。

- 10 秒以内に再度エンジン停止操作（ENGINE ボタンを押し“E”が点滅中にSTOP ボタンを押す）を行う
ジャンクションユニットから『ピー』と鳴り、登録完了となります。

リモコンからはエラー音『ピー』が鳴ります。
※ ジャンクションユニットから『ピー』と鳴らないときは、キーを OFF にして再度 1 の操作からやり直してください。



- もう一度エンジンスイッチを押して、エンジンを停止させ、ブレーキペダルから足を離す

こんなときは

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

症 状	チェック項目	実施項目
操作ボタンの液晶画面が 表示されない	- 電池が消耗していませんか？ - 電池が正しく入っていますか？	- 新しい電池と交換してください。 - 正しく電池をセットしてください。（☛27 ページ）
リモコン操作でエンジンが 始動または停止できない	- スリープ機能が働いていませんか？（☛26 ページ） - シフトレバーがパーキング(P)・ポジションになっていますか？ - それぞれのコネクターがジャンクションユニットへしっかり接続されていますか？ - P・ポジション検出ができていますか？ - 車と離れすぎていませんか？ - 車のバッテリーが弱っていませんか？ - 車両本来の操作でエンジンが始動しますか？ - 車両本来の操作でエンジンを始動していませんか？ - ルームランプやヘッドランプが点灯していませんか？	- 一度車両本来の操作でエンジンをかけてください。 - シフトレバーをパーキング(P)・ポジションにしてください。 - 確実に接続してください。 - P・ポジションが正しく検出できていないと、本機は動作しません。（「車内で『ビビビッ ビビビッ』音が鳴っている場合」☛28～29ページ） - 電波の届く範囲内で操作を行ってください。 - バッテリーを充電するか、新品と交換してください。バッテリーを交換した場合には、P・ポジション検出が必要です。 - 車の点検をしてください。 - エンジンを停止してから行ってください。 - ルームランプ、ヘッドランプを消灯させ、15秒以上経過してからリモコン操作を行ってください。
リモコン操作がエラーになる	車内で『ビビビッ ビビビッ』音が鳴っていませんか？	P・ポジション検出を行ってください。（「車内で『ビビビッ ビビビッ』音が鳴っている場合」☛28～29 ページ）
リモコン操作できる距離が短い	- リモコンのアンテナに手を触れていませんか？ - リモコンの電池が消耗していませんか？ - 車とリモコンの間に、障害物がありますか？ - リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていませんか？	- アンテナに手を触れないで操作を行ってください。 - 新しい電池と交換してください。 - 障害物のない場所から操作を行ってください。 - アンテナを十分に伸ばして操作を行ってください。

始動エラー音について

本機によるエンジンスタートが動作しない場合は、エンジン始動失敗後にジャンクションユニットから鳴る音(エラー音)により、不具合状況を確認できます。

本機の動作に不具合があったときは、この「エラー音」を確認して、取り付け店または弊社お客様ご相談センターにお問い合わせください。

- エンジン始動失敗後、次にエンジン始動操作を行うまでの間は、リモコンの(ENGINE) (エンジン) ボタンの2度押し(エンジンの状態確認操作)を行うことで、ジャンクションユニットから、もう一度エラー音を鳴らすことができ、不具合状況を確認できます。

エラー音	不具合の検出
ピピピッ ピピピッ ピピピッ	P ポジションの検出ができていません。(28 ~ 29 ページ)
ビー ビー	エンジンスターター動作中断時 ブレーキ検出
ビー ビー ビー	エンジンスターター動作中断時 ドア検出
ビー ビー	エンジンスターター動作中断時 電圧異常
ビー ビー ビー	エンスト検出
ビー ビー ビー	エンジン始動異常

仕様

■リモコン

適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備
送受信周波数	400MHz 帯
送信出力	10mW 以下
使用電池	リチウム電池 CR2025 × 2
動作温度範囲	− 10℃ ~ + 50℃
寸法	33 (W) × 59 (H) × 13 (D) mm (突起部含まず)
重量	約 30g (電池含む)

■ジャンクションユニット

適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備
送受信周波数	400MHz 帯
電源電圧	12V 車専用 (DC9 ~ 16V)
送信出力	10mW 以下
消費電流	スリープ時: 約 8mA 以下 待機時: 約 12mA 以下 (平均)
動作温度範囲	− 30℃ ~ + 85℃
寸法	105 (W) × 23.4 (H) × 62.6 (D) mm (突起部含まず)
重量	87.6g

セット内容

●ジャンクションユニット (1)

付属品

●リモコン (1)

※ リモコン用電池 CR2025 (2) は内蔵されています。

●ハーネス (1)

●タイラップ (2)

●ご注意ステッカーシート (1)

●保護シート (1)

●取扱説明書/保証書 (本書)

●取付・接続説明書 (1)

付属品の追加購入やオプション品の購入につきましては、お買い上げの販売店や弊社製品取扱店にご注文ください。

アフターサービスについて

次ページに続く

■保証書 (裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から3年間です。
(リモコンは1年、電池等消耗部品を除く)

■修理を依頼されるとき

「こんなときは」(31 ページ)をよくお読みください。それでも症状の改善がないときは、故障状況なるべく詳しくご連絡ください。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

●保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または弊社お客様ご相談センターにお問い合わせください。

■リモコンを紛失や破損したとき

リモコンを紛失や破損したときは、新しいリモコンを登録 (有償) することができます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

※リモコンは取り寄せ品となるため、ご来店当日の登録ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

「取付・接続説明書」や本書に従った、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書に従って修理いたします。
また、本機取り付けによる車両や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

ユビテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日
(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター

 **0120-998-036**

- 上記窓口の名称、電話番号は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

＜無料修理規定＞

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、弊社お客様相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換

故障内容記入欄

- ※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、弊社お客様相談センターにお問い合わせください。
- ※ 弊社お客様相談センターは（●34ページ）をご覧ください。